

情報公開文書
作成日：2025年6月1日
Version 1.4

近年、原発性肺癌に対する外科治療の進歩（ロボット支援下手等や単孔式胸腔鏡手術といった、より低侵襲な手術の広がり）、薬物治療の進歩（新たな分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬等）等が近年見られますが、単施設からの報告が多く、サンプルサイズに限界があるため、患者予後に及ぼす効果については十分な統計学的解析がなされていない傾向にあります。本研究は、多施設データベースに基づく、原発性肺癌切除と予後（術後生存および腫瘍再発）の関連を検討することを目的としております。本研究の意義として、原発性肺癌切除後の患者管理（追跡・術後補助療法）が、より明確になることが期待されるため、本研究を計画いたしました。

課題名：多施設データベースを用いた、原発性肺癌切除後予後解析についての研究

参加施設：

< 研究代表機関 >

京都大学医学部附属病院呼吸器外科（研究責任者 毛受暁史）

< 共同研究機関 >

- ・ 国立病院機構長良医療センター（研究責任者 小松輝也）
- ・ 北野病院（研究責任者 黄政龍）
- ・ 天理よろず相談所病院（研究責任者 中川達雄）
- ・ 大津赤十字病院（研究責任者 片倉浩理）
- ・ 京都桂病院（研究責任者 青山晃博）
- ・ 兵庫県立尼崎総合医療センター（研究責任者 阪井宏彰）
- ・ 大阪赤十字病院（研究責任者 園部誠）
- ・ 京都市立病院（研究責任者 宮原亮）
- ・ 倉敷中央病院（研究責任者 小林正嗣）
- ・ 和歌山赤十字病院（研究責任者 石川将史）
- ・ 聖路加国際病院（研究責任者 小島史嗣）
- ・ 福井赤十字病院（研究責任者 松倉規）
- ・ 滋賀県立総合病院（研究責任者 菊池柳太郎）
- ・ 西神戸医療センター（研究責任者 大政貢）
- ・ 奈良県立医科大学（研究責任者 濱路政嗣）

研究対象者：2010年1月1日から2021年12月31日までに原発性肺癌に対して切除術を受けた患者さん

取得データについて：病歴・腫瘍に関するデータ・再発の有無・生存状況等を利用させていただくことといたしました。これらのデータは通常に診療を受けていただく際に記録されるデータであり、特別に患者さんに御負担いただいて収集するものではありません。

研究期間：研究機関の長の実施許可日より10年間（2030年6月21日まで）

個人情報の保護：患者さんは仮名化され、プライバシーは保護されています。つまり、診療録からは、個人情報管理者が氏名、住所、患者ID、生年月日などの個人情報をすべて削除して仮名化したデータを作成して解析を行います。個人情報（患者情報）自体も厳重に管理します。

研究費：この研究は、呼吸器外科の研究費（呼吸器外科奨学寄附金）により実施します。

利益相反：京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査されています。

倫理審査：京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施致します。

過去の診療記録から得られた資料を用いますので、同意書は頂きませんが、患者さんには、臨床データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。研究計画書および研究の方法に関する資料は、ご希望があれば（他の患者さん等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限りまして）入手閲覧して頂くことができます。

このような臨床研究に対してご質問のある方は以下の問合せ先まで申し出ください。なお、これらのデータ利用を拒否される場合も、お申し出ください。

問い合わせ先：

< 研究代表機関 >

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院 呼吸器外科

当科データベース管理担当者（西川滋人：075-751-4975）

2) 京都大学の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

（Tel）075-751-4748

（E-mail）ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp